

ご相談、ご紹介お待ちしております! 地域医療福祉連携室

当院はリハビリテーションの専門病院としての長い歴史と実績があり、地域に根差した医療機関を目指して日々邁進しております。回復期リハビリテーション病棟・一般障害者等病棟・医療療養病棟を有し、リハビリ目的での患者様の受け入れを積極的に行っています。

■スタッフ紹介

地域医療福祉連携室 室長	木戸 保秀(院長)
地域医療福祉連携室 副室長	迫 浩子(副看護部長)
	森 晃子
	平岡 美佳
	重松 健三



地域医療福祉連携室では医師1名・看護師2名・事務員2名を配置しており、紹介患者様が安心して入院・リハビリ治療が受けられるように地域の医療機関様との窓口となり、前方連携業務を行っています。転院相談を頂いたら、速やかにお受入れの準備を行い転院までの日数を極力短縮できるよう日々努力しています。

■主な前方連携業務

☆入院相談	看護師が入院の相談を承ります。
☆入院日のご相談	各病棟師長・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーとともに入院日・病棟等の調整を行います。
☆入院のご案内	ご家族様等へお電話で入院当日の流れと入院生活に必要なものをご案内いたします。
☆病院訪問	紹介元医療機関様に看護師が訪問し、患者様の状態確認を行い、お受入れの準備を万全にできるよう努めております。
☆院内見学	見学を希望される方へ院内のご案内をしています。



後方支援は私たちが担当しています!!

後方支援は医療社会相談部が担当しています。

当院では入院時より医療ソーシャルワーカーが担当させていただき、患者様やご家族様のお気持ちをお伺いしながら、退院後も安心した生活が送れるようお手伝いをしています。

地域医療福祉連携室とは役割を分担してはいますが、同じフロアの中で情報を常に共有していますので、お気軽にお声かけください!!

高次脳機能障害支援室については次のページへ ⇒ ⇒ ⇒

高次脳機能障害支援拠点機関だより

当院は平成20年から愛媛県より指定を受け、高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業における支援拠点機関として活動してきました。事業内容は個別支援と普及啓発を二本柱とし、二次保健医療圏域ごとに設置されている保健所や協力病院と連携しながら、確定診断やリハビリテーション、各種社会制度の申請、地域生活、復職・復学支援など、多種多様な場面でのサポートができるような支援体制づくりに努めて参りました。また、普及啓発活動として拠点機関主催の講習会を年3回企画運営しています。



※①講習会の様子

拠点機関主催の講習会概要(H28年度)

日時	講習会名	内容	場所	参加者数
7/2(土)	平成28年度 愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会	小児期における高次脳機能障害	愛媛県生涯学習センター	291名
9/24(土)	一般社団法人日本損害保険協会 助成事業 リハビリテーション講習	交通事故の損害賠償／意思決定支援／病識の問題	テクノプラザ愛媛	156名
1/21(土)	第32回臨床高次脳機能研究会えひめ	スポーツ外傷後の高次脳機能障害	テクノプラザ愛媛	—

※①

高次脳機能障害によりお困りの方、またその疑いがある方が皆さまの周りにいらっしゃいましたら、是非、当院高次脳機能障害支援室までご一報いただければ幸いです。皆さまのご支援、ご協力を賜りながら、日々精進して参る所存でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

高次脳機能障害とは…

事故や病気などで脳に損傷を受け、記憶力や注意力、対人関係能力などに障害が起き、それが原因で生活に支障が出ている状態をいい、外見上わかりにくいことから「見えない障害」と言われています。

リハビリテーション講座

Rehabilitation Course

No.11

失語症について

失語症とは…

脳梗塞などの脳血管障害や事故による頭部外傷などから起こる言葉の障害です。

【話す】

- 言いたい言葉が浮かんでこない
- 思ったことと違うことを言う



【聞く】

- 言葉の意味が理解できない
- 長い話が理解できない



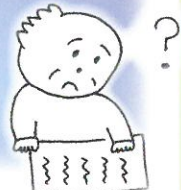
【書く】

- 文字を思い出せない
- 文章が書けない



【読む】

- 単語や文を読むことができて理解できない



どうしたらコミュニケーションが図れる??

【話す】時の配慮

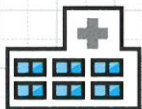
- ①表情豊かに抑揚をつけて話す
- ②ゆっくり短く分かりやすい言葉で話す
- ③ジェスチャーや文字・絵を提示する

【聞く】時の配慮

- ①何を言いたいのか考えながら待つ
- ②「はい」「いいえ」で答えられる質問にする
- ③内容が理解できているか確認を行う

当院での取り組み…

失語症のリハビリテーション・ケアには長い時間が必要です。そこで当院言語療法科では、「松山失語症友の会」を組織し、退院後の患者様・ご家族様と様々な活動を行っています。生きがいや楽しみ、交流の場としてだけでなく、「家族も含め家庭に引きこもらず外に出るきっかけ」、そして、「社会的に失語症の理解を深めてもらう」ために活動しています。詳しくは、会報「ていれぎ」を発行していますので是非ご覧ください。



医療安全情報



「医療安全マニュアル」について

医療安全管理室では、患者様に安心して入院生活をおくって頂けるよう院内の環境整備に取り組んでいます。院内には、医薬品の安全使用のための業務手順書、医療機器、看護手順など各種マニュアルがあり、スタッフはこれらに基づき業務を行っています。しかし、時としてインシデント・アクシデントにつながる場合があります。

ヒヤリハットやインシデント・アクシデントが発生した場合には、速やかに臨時の医療安全対策委員会を開き、原因を分析し対策を講じています。対策の中には、“マニュアルの見直し”も含まれており、患者様やスタッフ双方にとって安全で遵守可能なものであるかなど、他の医療機関等も参考にしながら見直しを行っています。また、定期的にラウンドチェックを実施し、マニュアルが遵守されているかの確認も行っています。

当院では医療事故を予防するために、ヒヤリハットやインシデント・アクシデント報告を活かし、「現場で実施できる」「事故を予防できる」マニュアルとなるよう、各部署と連携をとりながら作成・改良に取り組んでいます。

(医療機能管理室 寺尾)

開設

指定特定相談支援事業所 松山リハビリテーション病院

松山リハビリテーション病院の母体である医療法人財団慈強会は、平成28年7月1日、新たな附帯業務として障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(通称:障害者総合支援法)に基づく「指定特定相談支援事業所 松山リハビリテーション病院」を開設しました。

指定特定相談支援事業所とは？

基本相談支援	生活全般における困り事や社会制度手続きの支援など、生活に関わる様々な相談
計画相談支援	障害福祉サービスを利用する際に必要な「サービス等利用計画」の作成・見直し等

当事業所の特徴

◆高次脳機能障害をもつ方への支援

◆医療と連携した支援

対象となる方は身体障害、知的障害、精神障害、難病のある方で、事業実施地域は松山市・伊予市(旧市内)・東温市・砥部町・松前町・久万高原町(旧久万町)と、中予圏域にお住まいの方を幅広く対応させていただいております。関係機関の皆さまのお近くで、障害や難病により生活のしづらさを抱えておられる方がいらっしゃいましたら、そのような方々の地域生活がより良いものになるよう支援の協力をさせていただきたいと思っておりますので、いつでも当事業所までご連絡いただければ幸いです。開設したばかりで日々試行錯誤、自問自答の繰り返しではありますが、今後ともよろしく願いいたします。

【連絡先】

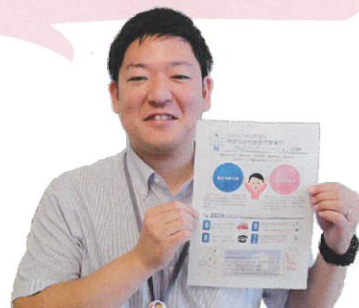
指定特定相談支援事業所 松山リハビリテーション病院

管理者・相談支援専門員 野間 裕史

〒791-1111 松山市高井町1211番地(松山リハビリテーション病院 総合支援センター内)

TEL/FAX: 089-975-7433(直通) / 089-975-0603(直通)

E-mail: matsuriha.hp-keikakusoudan@jikyokai.or.jp



関連施設の紹介——東松山居宅介護支援事業所

～“こころ”を込めて“こころ”に寄り添って、ご相談をお受けします～

東松山居宅介護支援事業所は、看護師、社会福祉士、介護福祉士の各資格を持ったケアマネージャー（介護支援専門員）が在席しています。

私たちケアマネージャーは、介護が必要になった方が住み慣れた自宅で生活するためのパートナーになりたいと考えております。ケアマネージャーの役割は、要介護状態になっても今までどおり自立した生活が送れるよう支援することです。何ができて何ができないのか、その原因を把握することから始まります。そしてこれからどのように暮らしていきたいのか、ご家族はどのように関わることができるのか一緒に考えながらケアプランを作成していきます。ケアプランに沿って目標が達成できているか、新たな課題はないかなど評価をして、見直しを行って継続的な支援を行います。

ケアマネージャーの最も重要な役割は、要介護者やそのご家族と介護の専門家を繋ぐことです。「どんなサービスがあるのかわからない」「サービスを受けるのにいくらかかるかわからない」「将来的にはこうなりたい」「どうすればより良い介護ができるだろう」など、分かりにくいことや希望することなど、いつでもお気軽にご相談ください。



東松山在宅ケアセンター

1 職員体制

- 管理者 1名
- 介護支援専門員 8名(管理者除く)

2 営業日及び営業時間

- 月曜日から金曜日(祝日、12月30日から1月3日までを除く)
- 午前8時30分～午後5時30分

3 事業所体制

- 特定事業所として以下の体制を整え、質の高い充実した介護支援の提供を行う。
- 主任介護支援専門員の配置
 - 24時間連絡可能な体制

東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158(担当 重松)



医療法人財団 慈強会
松山リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院
〒791-1111 松山市高井町1211番地
TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670
ホームページアドレス <http://www.jikyukai.or.jp>
許可病床 326床・6病棟(回復期病棟160床・一般病棟116床・療養病棟50床)
日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 伊予鉄久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約7分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里
TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター

東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425
東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158
東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘
TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

味酒野 ていれぎ荘

TEL.089-989-5571 FAX.089-989-5572

〈松山市委託事業〉松山市地域包括支援センター 小野・久米地区
TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

編集責任者 事務長 武井淳二